

科目名	ビューティービジネス（基礎）		Subject	Beauty Business - Basic				
サブタイトル	ビューティービジネスの概念と基礎的なマーケティングの知識を理解することを目的とする							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	必修						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回				○	◎	○		○
教員名	牧野 容子			メールアドレス	yoko_makino@			
教員の略歴	美容業界、主にベンチャー系の化粧品メーカーにおいて、クリエイティブディレクションを中心にブランディング、PR、販売促進、VMD 関連など幅広くマーケティング領域に従事。							
実践的教育	美容系マーケティング業務経験者：マーケティング業務の経験をもとに、実践に即した内容としている。							
オフィスアワー	授業の前後 30 分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
ビューティービジネスは顧客を美しくするビジネスであると同時にその定義は幅広く、様々な産業や職業が存在する。一般的に美容室、エステ、ネイルなどのサロン業界や、ヘアケア・スキンケア・ボディケア・メイクアップ商品などの化粧品業界を指すが、昨今ではフィットネスや美容医療も含まれることも多く、外見や外側からだけでなく、内面の美容と健康をトータルに提案するパーソナルジムやリラティスタジオ、オーガニック食品などの商品も含まれるといえる。また、昨今のビューティービジネスは従来の業態におさまらず、多様化する顧客ニーズを満たすビジネスであり、ジェンダーや年齢を問わず拡大している市場である。本基礎講座では、まずビューティービジネスの範囲を定義し、美容商品の企画、ブランディング、SNS やインフルエンサーなどデジタル時代におけるコミュニケーションの設計、マーケティング基礎、流通の仕組みなどを身近な事例を取り上げ学んでいく。また、グループワークとして思考法と解決法を用い、美容商品のブランディング・販売促進および PR の方法もしくはビューティービジネスの社会的価値や抱えている課題や可能性を考え、発表し、学生同士で相互評価する。これはディプロマポリシー3 のデータや様々な思考法を用いて課題を分析し、社会状況を勘案した解決策を想定できるに該当する。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり-	あり-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP3	データをもとに様々な思考法を用いて課題を分析し、社会状況を勘案した解決策を想定できる。							
DP2	社会や自分の周りで起きていることに、積極的に関心を持つことができる。							
DP4	多様な価値観や考え方を自分なりに理解し、議論することで実践できるようになる。							
DP6	美道を基本とし、ビジネスという視点から自分や他者が豊かな人生を送るための考え方を理解し、提案することができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	イチからわかる！「マーケティング」の基本と実践（すばる舎、2024）、入門 ビューティービジネス（同友館、2023）							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
40%	%	20%	10%	%	15%	%	15%	（ ） %
授業内容の性質上、特に授業態度は重視します。状況によりゲストスピーカーの変更もあります。 なお、出席数の不足や不正行為があった場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。課題・レポートについては授業時に総括コメント致します。								
履修上の条件・注意								
私語、居眠り、携帯電話の使用、授業及び他者の学習の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。授業に関わる内容の質問や意見など積極的な発言は歓迎いたします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第1回	オリエンテーション ビューティービジネスの概要を学ぶ	授業の進め方、授業の全体像を理解し、15回の授業の展開を予測することができる。	【復習】全15回の授業予定の中で最も興味がある授業やその理由をまとめる。 【予習】日本において有名な化粧品会社を調べ、その特徴をまとめる。	60分
第2回	ビューティービジネス（化粧品）概要	日本における化粧品業界の概要を述べることができる。	【復習】化粧品業界とはどのようなものかを自分なりにまとめる。 【予習】マーケティングとは何かについてインターネットなどで自分なりに調べ、まとめる。	60分
第3回	マーケティングとは何かを学ぶ	マーケティングがなぜ必要なのか、さらにマーケティングが何かを解釈し述べるができる。	【復習】マーケティングとは何かを自分なりに考える。 【予習】好きなブランドとその理由をまとめる。	60分
第4回	ブランディングとは何かを学ぶ	ブランディングがなぜ必要なのか解釈し、述べるができる。	【復習】ブランディングの必要性を自分なりに考える。 【予習】実際に何かを購入した際、どのように考え、行動し購入に至ったのかをまとめる。	60分
第5回	商品企画について学ぶ	商品企画に必要な簡単なマーケティング施策を、消費者行動論を踏まえて立案することができる。	【復習】商品企画とは何かを自分なりに考える。 【予習】PRにはどのようなものがあるかについてインターネットなどを使用して調べる。	60分
第6回	ゲスト①PRコーディネーター（予定）からブランディング、PRについて実務を学ぶ	プロモーションの一環としてのPRを実務経験から学び、一連の流れを理解し、PRの必要性を述べるができる。	【復習】PRに必要なプレスリリースを作成する。 【予習】プレスリリース発表のための練習をする。	60分
第7回	PRの実践と前半までを振り返る	1～6回までの授業の理解を深め、さらに、PR、伝えることの重要性を理解し、自分の意見を述べるができる。	【復習】1～7回の授業を振り返り、マーケティングやブランディング、PRなどの重要性をまとめる。 【予習】美容関連商品でブランドを2-3つほど挙げ、その特徴などを簡潔にまとめる。	60分
第8回	思考法と解決法の実践を学ぶ① 3C分析	グループワークとして、マーケティングの基本である環境分析のフレームワークを用いビューティービジネスを分解し、述べるができる。	【復習】授業の中で行なったブランドの3C分析の強み、弱み、差別化ポイントをまとめる。 【予習】ビューティー雑誌にはどのようなものがあるかを調べ、それぞれの特徴を簡潔にまとめる。	60分
第9回	ゲスト講師②：ビューティー系雑誌について編集長から実務を学ぶ（予定）	ビューティー系雑誌の編集の仕事を知り、どのように記事やコンテンツが作られていくかを理解し、伝えることの必要性について自分で意見を述べるができる。	【復習】美容メディアとして取材または発信してみたいテーマと、それは誰にとって価値のある情報になるか考えるまとめる。 【予習】3C分析を行った企業がどのような消費者層に人気かを調べ、まとめる。	60分
第10回	思考法と解決法の実践を学ぶ② STP分析	基本戦略となるフレームワークを用いてビューティービジネスを分解し、グループワークで分析内容を互いに述べるができる。	【復習】STP分析とポジショニングマップを作成する。 【予習】STP分析をしたブランドの人気商品を2つほど挙げ特徴などをまとめる。	60分
第11回	思考法と解決法の実践を学ぶ③ 4P分析	マーケティングの具体的施策に落とし込むフレームワークを用いてビューティービジネスを分解し、グループワークで分析内容を互いに述べるができる。	【復習】各グループでのブランドから作ってみたい具体的なアイテム（商品）とその詳細をまとめる。 【予習】デジタルを活用したビューティービジネスについて調べ、まとめる。	60分
第12回	ゲスト講師③：デジタル時代のビューティービジネスを実務から学ぶ。（AIパーソナルトレーニング予定）	最先端のビューティービジネスを実務経験者から学び、新規事業についての一連の流れを理解し、自分の考えとして落とし込むことができる。	【復習】デジタルを活用したビューティービジネスの話を自分なりに理解し、新しいビジネスの可能性を考える。 【予習】次回グループワークのために学習したフレームワークを見直し活用できるようにまとめる。	60分
第13回	新しいビューティービジネス実践① 第14回での発表に向けてグループワーク	グループ発表のための課題を、これまで学んだ事例、思考法や解決法を用いて考え、まとめることができる。	【予習・復習】フレームワークや企画内容を整理し、発表に向けた準備を進める。	60分
第14回	新しいビューティービジネス実践② グループ発表、討論	グループワークとして、ビジネスアイデアを考え、発表できる。	【復習】他グループの発表を聞き、印象に残った点や気づきを簡潔にまとめる。 【予習】これまでの学びを振り返り、自分にとっての気づきや成長を整理する。	60分
第15回	ビューティービジネスのまとめとグループワークアイデア総評	15回の授業を振り返り、理解度を確かめ実践できる。	【予習・復習】これまでの授業内容を振り返り、自分の学びや印象に残ったことを整理して期末テストに臨む。	60分